

# 国際標準化機構拠出金

## 平成30年度予算額0.1億円（0.1億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 国際標準化機構（ISO）は、163カ国が加盟する国際標準化機関であり、電気・電子・通信分野以外の国際規格の開発等を行っています。
- 日本からは、閣議了解に基づき、我が国の電気・電子分野以外における国際標準化活動の推進に資するために、1952年から日本工業標準調査会（工業標準化法に基づき設置された審議会、事務局は経済産業省）が加盟しています。
- ISOは、加盟国からの拠出による発展途上国支援基金を活動資金とし、全加盟国のうち77%を占める発展途上国に対する支援活動を実施しています。本事業はこの基金への拠出金を支払うものです。
- 発展途上国が国際標準化活動に積極的に参加することで、国際規格が普及し、新興国市場へのアクセスが容易になります。

#### 成果目標

- 平成22年度からの事業であり、資金拠出に応じて国際標準化機構の国際標準化活動において、我が国の国際標準化活動の影響力を強めることを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



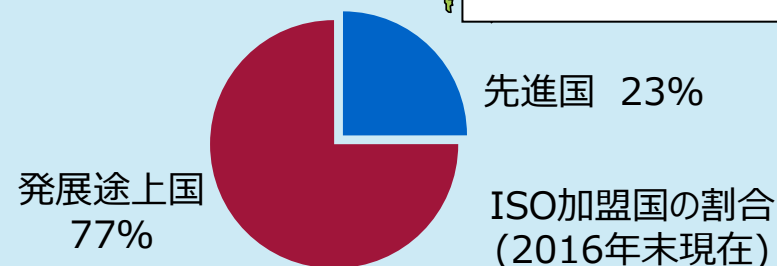
### 事業イメージ



会員数(2016年末現在)：163カ国  
規格数(2016年末現在)：21,478規格



【発展途上国アクションプラン】  
ISOが発展途上国向けに行う技術的支援の枠組みを定めたもの。



当該拠出金は、発展途上国に対するワークショップの開催や研修の実施、また、国際会議への参加費用支援等に活用されている。